

2016



エコアクション21

環境活動レポート

《対象期間2016年1月～2016年12月》

◆環境方針

1. 組織の概要
2. 認証・登録の範囲
3. 体制図及び認証登録範囲図
《体制図》《責任と役割及び権限》
4. 環境目標とその実績
5. 期間1年間の目標及び取組結果の評価
 - ①環境目標及びその達成状況
 - ②環境活動計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容
 - ③期間における全体評価
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



エコアクション21



株式会社REC

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里
2-22-3

電話：03-3803-2400

FAX：03-3803-2552

発行日 2017年2月1日

環 境 方 針

【基本理念】

株式会社 REC は、お客様に安全とより良い環境を提供すると共に
私たちが携わる仕事の中で、環境に配慮したシステムの提案、施工方法の構築と
地球環境問題を自社の課題と認識し、取り組んでいる環境設備企業です。
下記の行動指針に基づき従業員が環境活動に積極的に取り組むと共に
継続的改善を実施します。

【行動指針】

1. 設備工事を通して、環境負荷の低減に向けて組織的に取り組みます。
2. 環境を配慮した工法を提案します。
3. 環境関連法規等を遵守します。
4. 環境方針を文書化し、従業員に周知徹底します。
5. 環境への取り組みを環境活動レポートにして公表します。

The logo for REC, consisting of the letters 'REC' in a bold, stylized, sans-serif font. The letters are filled with a fine grid pattern.

【改定日】平成29年 2月 1日

株式会社 REC

代表取締役社長

有明 芳男

1. 組織の概要

《事業者名称》 株式会社 REC

《代表者》 代表取締役社長 有明 芳男

《所在地》

- ◆ 本 社 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-3
ステーションプラザタワーアネックスウエスト
- ◆ 東京支店 〒113-0022 東京都文京区千駄木3-46-2
- ◆ 名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-11日新火災名古屋ビル
(中津川営業所) 〒508-0001 岐阜県中津川市中津川2364-1394
- ◆ 大阪支店 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-6-6 カーニープレイス西本町

《設立年月日》 創 業 : 昭和59年 2月 1日

《資本金》 9,500万円

《事業内容》 総合設備工事業

・許可番号:建設業(管工事業)

国土交通大臣許可(特-27)10783号 管工事業

国土交通大臣許可(般-27)10783号 消防施設工事業・電気工事業

《環境管理責任者》 氏名:竹内 等

《連絡担当者》 EA21事務局

氏名:金谷 雅和

TEL:03-5814-1240

E-mail: m-kanaya@rec-s.co.jp

《事業の規模》

- ◆年間工事高(平成28年12月期) 3,735,000千円(全社)
- ◆工事件数(平成28年12月期) 1,544件(全社)
- ◆事務所(本社・本店・2支店・1営業所)(平成27年12月28日現在) 1,041.41㎡(全社)
- ◆倉庫(東京本店,名古屋支店)(平成28年12月28日現在) 61.29㎡(2店)
- ◆全従業員(平成28年12月28日現在) 97名(全社)

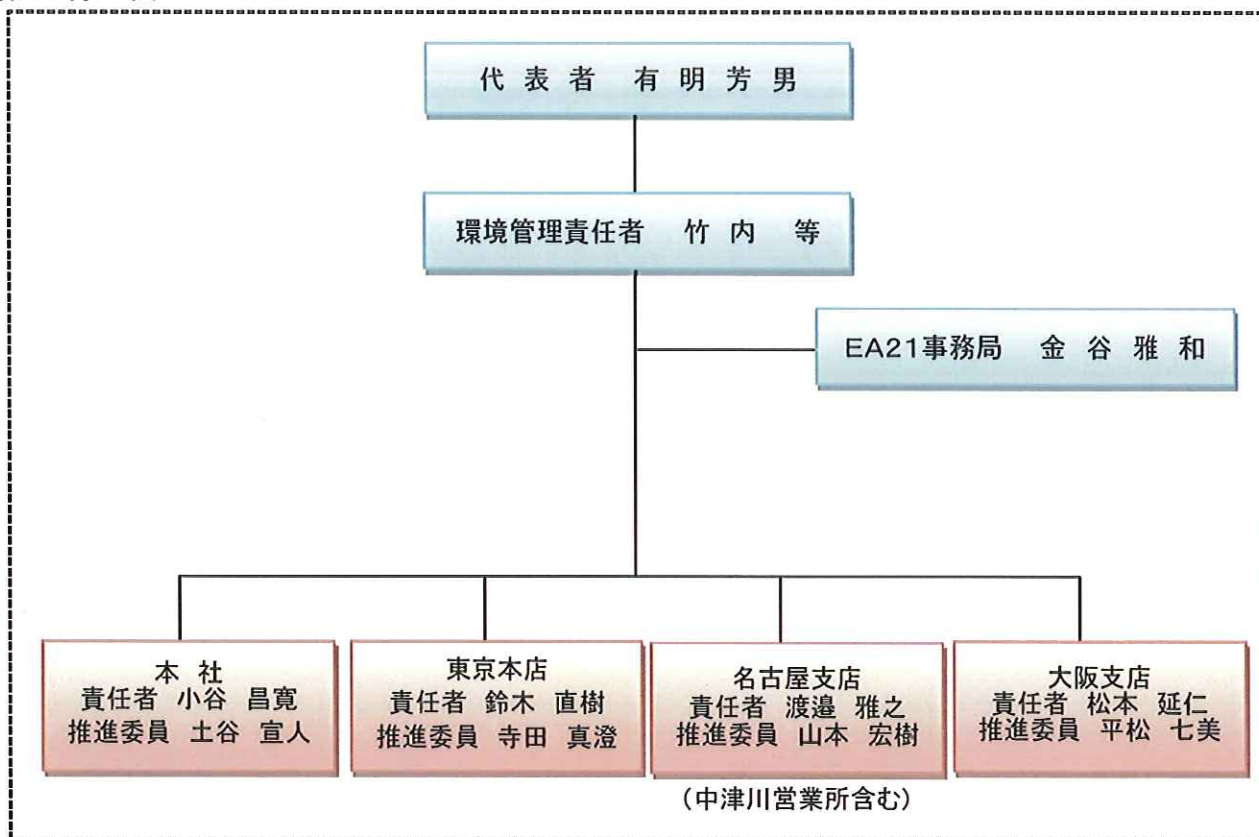
2. 認証・登録の範囲

《登録組織名》 株式会社 REC

《登録の範囲》 全組織・全活動・全従業員

3. 体制図及び認証登録範囲図

《体制図》



(認証登録範囲)

《責任と役割及び権限》

担当者	責任と役割及び権限
代表取締役 有明 芳男	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ● 経営資源の準備 ● 全体評価と見直しを実施 ● 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 竹内 等	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営システムの構築・実施・管理 ● 法規制等の取りまとめ ● 環境活動レポートの確認 ● 環境活動取組に結果を代表者へ報告
EA21事務局 金谷 雅和	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ● 環境活動レポートの作成 ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境活動レポートの作成・公開(事務局に備付けと地域事務局への送付)
各店 責任者 推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境方針への理解と取組みへの自覚 ● 従業員に対する教育訓練の実施 ● 問題点の発見・是正・予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ● 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境目標とその実績(全 店)

(表-1)

		基準年度	短期目標	中長期目標
		平成27年1月～ 平成27年12月	平成28年1月～ 平成28年12月	平成29年1月～ 平成29年12月
電力使用量削減	Kwh	150,524	149,020	148,266
		100%	99.0 %	98.5 %
燃料使用量削減 (ガソリン・軽油)	ℓ	23,094	22,863	22,748
		100%	99.0 %	98.5 %
廃棄物排出量の削減 (一般+産業廃棄物)	kg	82,394	81,569	81,158
		100%	99.0 %	98.5 %
総排水量削減	m ³	572	570	566
		100%	99.7 %	99.0 %
グリーン購入	%	46.0%	47.0%	48.0%
		100%	102 %	104 %
環境を配慮した 施工方法の提案	件	73	80	87
		100%	110 %	119 %

※化学物質については使用していない為除外と致します。

※二酸化炭素排出量の目標と実績 (単位:kg-co₂)

(表-2)

		基準年度	短期目標	中長期目標
		平成27年1月～ 平成27年12月	平成28年1月～ 平成28年12月	平成29年1月～ 平成29年12月
二酸化炭素排出量削減		130,082	128,781	128,131
		100%	99.0 %	98.5 %
	電力使用量削減	76,466	75,701	75,319
		100%	99.0 %	98.5 %
	燃料使用量削減 (ガソリン・軽油)	53,616	53,080	52,812
		100%	99.0 %	98.5 %

(注) 購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数

店 名	排出係数	電気事業者名
本 社	0.505kg-CO ₂	東京電力株式会社
東 京 本 店	〃	東京電力株式会社
名 古 屋 支 店	0.497kg-CO ₂	中部電力株式会社
大 阪 支 店	0.531kg-CO ₂	関西電力株式会社

5. 期間1年間の目標及び取組結果の評価（全 店）

①環境目標及びその達成状況（期間：平成28年1月1日～12月31日）

（表-1）

	単位	基準値	目標	実績	要因と評価
		平成27年	平成28年	平成28年	
		1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
電力使用量削減	Kwh	150,524 100 %	149,020 99.0 %	149,797 99.5 %	節電意識も高まり、不要な電灯の消灯活動も癖づくようになった。本社を除き各店に共通して言える事は、夜間、休日仕事が増加する中で目標値に近い数値で納まった事はエコに対する意識向上の表れと判断し継続的削減に努力する。
燃料使用量削減 （ガソリン）	ℓ	23,094 100 %	22,863 99 %	19,080 83 %	公共交通機関の利用が定着化してきている。また、遠距離での案件受注が減少して来た事も大きな要因である。継続的に使用量削減に努める。
廃棄物排出量の削減 （一般+産業廃棄物）	kg	82,394 100 %	81,569 99 %	88,448 107 %	一般ゴミにおいてはマグカップの使用によるごみの発生を抑える活動を継続実施した。又、元受け工事の増加により産業廃棄物処理も比例して増加し数値を押し上げているが、分別、再利用、梱包材の省力化は引き続き実施していき排出量削減に努力する。
総排水量削減	m ³	572 100 %	570 99.7 %	581 102 %	昨年より実施した節水活動の影響もあり節水効果は維持された状態である。社員増加、夏場の暑い時期の外部、樹木の散水等の影響も大きい。今後共節水努力を続けたい。
グリーン購入	%	46% 100 %	47% 102 %	46% 100 %	グリーン商品に対する意識が高まりつつあり、社員の発言からもエコ商品に関する内容が伺える。購入率は若干低下したものの社員の意識向上(特に本社、大阪支店)、購入の拡充を推進して行く。
環境を配慮した 施工方法の提案	件	73 100 %	80 110 %	82 112 %	今年度も目標値をクリアする事が出来た。今後も施工検討会をタイムリーに100%実施する様指導する。提案内容においても顧客に喜ばれる提案を心掛け、エコ企業として積極的に取組む。

※要因欄：良い点(推進) 悪い点(改善)

※期間における二酸化炭素排出量の目標と実績（単位：kg-CO₂）

		基準値	目標	実績	要因と評価
		平成27年	平成28年	平成28年	
		1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
二酸化炭素排出量削減		130,082 100 %	128,781 99 %	120,423 93 %	電力使用の削減においては、毎年、効果が表れており、目標値に到達出来ている。燃料使用においても、公共交通機関の利用が定着化してきている。次年度も継続的に推進して行く。
電力使用量削減		76,466 100 %	75,701 99 %	76,124 100 %	個人個人の意識の芽生え、節電の効果は確実に表れているが、各店共通であるが、夜間、休日作業が増加傾向である。必要の無いところは消灯努力を図っている。今後共削減努力を継続する。
燃料使用量削減 （ガソリン・軽油）		53,616 100 %	53,080 99 %	44,299 83 %	車が必要となる遠方の案件数が減少、1台廃車を実施した。公共交通機関の利用が定着化してきており無理に車を使わず継続的に削減努力を図る。

（注）購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数

店名	排出係数	電気事業者名
本社	0.505kg-CO ₂	東京電力株式会社
東京本店	〃	東京電力株式会社
名古屋支店	0.497kg-CO ₂	中部電力株式会社
大阪支店	0.531kg-CO ₂	関西電力株式会社

②環境活動計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

(表-3)

環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減(電気)		
① 昼休みの消灯 ② エアコンの適正温度 (冷房:28℃ 暖房:20℃) ③ クールビズ運動 ④ OA機器の節電モード ⑤ 温水洗浄便座の温度設定	・継続し節電効果が出ている。 ・室温管理は実施中。 ・クールビズは、5月～9月末まで実施。 ・節電モードを継続中。 ・低温設定を継続中。	継続して実施する。
二酸化炭素排出量削減(ガソリン)		
① 公共交通機関を積極的に利用 ② 不要なアイドリングをしない ③ 遠距離以外は給油は1/2とする。 ④ 定期的な車両の点検 ⑤ 不要な荷物は積まない	・公共交通機関を利用する様徹底した。 ・エコドライブを実施中。 ・走行距離を伸ばす。 ・定期的に整備を実施した。 ・不要な荷物を降ろす様実施した。	継続して実施する。 (車の必要数を再検討する。)
総排水量の削減		
① 手洗い時の節水 ② 締め忘れ防止 ③ 節水ゴマの設置	・配管、衛生機器の定期点検を実施する。 ・節水効果が現れ、水量減少した。	継続して実施する。
廃棄物排出量の削減		
① コピー機は使用後は節電モードとする。 ② 両面コピーの励行 ③ コピー用紙の片面印刷物の再利用 ④ 官公庁、元請工事での分別、再利用、再資源の推進 ⑤ 建設産業廃棄物の適正処理	・節電モードに切り換える様できた。 ・励行ができた。 ・励行ができた。 ・リサイクルを推進する。 ・更なる分別搬出努力が必要。	継続して実施する。 (分別収集の実施を怠らない。)
グリーン購入		
① 物品を購入する前に必要性を検討 ② 環境に配慮した物品(事務用品)	・不要な品物は購入しないよう吟味する。 ・発注時の商品選定において可能な限りグリーン商品に移行する。	継続して実施する。
環境を配慮した施工方法の提案		
① 施工検討会の実施 ② 技術発表会にて改善事例報告	・検討会にて提案事項を報告。 ・技術発表会にて周知した。	継続して実施する。

③期間における全体評価

《評価内容》

早いもので取組が4年経過し5年目に入りました。
この間支店移動(名古屋支店)、増床(大阪支店)、用途変更等(東京支店)があり、基準値が変更する様な事がありました。がやっと固定化され、エコアクション21取組みも会社の中に溶け込んで来ました。
平成29年2月1日に社名を(株)レックコンストラクションから(株)REC(呼称レック)に変更しました。
その際にRECのEは、Expert:『経験』からEcology:『環境に配慮』に変更しました。環境企業として、『環境を配慮した施工提案』が定着して来ましたので、マンネリ化ならずにもう一步踏みこんだ形で改善推進して行く所存です。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

(表-1)

法規制等の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者の委託契約書及び業者の許可内容が適正である事の確認及び許可証の写し保管 ・最終廃棄物の削減 ・マニフェスト票による管理 	適正処理
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・各種作業に係わる技能講習の取得 (玉掛け技能講習・ガス溶接技能講習・酸素欠乏危険作業主任者技能講習等) 	適正処理

《違反・訴訟等の有無》

環境関連法規への違反・訴訟はありませんでした。

また、過去3年間にわたり、関係機関からの違反指摘等はありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

速いものでエコアクション21取組みが4年経過し5年目に入りました。この間に支店の移動(名古屋支店)、増床(大阪支店)用途変更(東京支店)があり、基準値等の変更するような事がありましたが、やっと基準値が固定化され、取組も会社の中に溶け込んで来ました。電力使用量では、節電が当たり前でパソコンの切り忘れ、自動車燃料使用量では、公共交通機関使用が少しずつではありますが徹底され、廃棄物排出量では、分別が徹底され、段ボール等の廃材は業者に出来る限り持帰りを原則とし、水道使用量については節水コマの組入れ、漏水等の定期的点検の実施で一定の効果をj確認する事が出来た。今後は、グリーン購入については、購入する前に価格、必要性を比較検討させる。環境配慮型サービスの促進については、施工検討会100%実施に向けて実績評価を上げる様改善する。